

本会議で会派代表質問



新型三四回ガビ・インフル同時流行対応について

厚生労働省は「この冬は、新型コロナウイルス感染症が拡大し季節性インフルエンザと同時に流行する可能性がある。」と発表しました。コロナ禍の医療現場では、スタッフや病床等も不足し、自宅や宿泊施設で療養を余儀なくされるなどの問題が生じましたが、新型コロナとインフルエンザの同時流行に備え、医療体制は整っていますか。

農林業の振興は二三りで

水田農業の現状

第二章

クの高まりや、地球環境問題への対応等から、海外に食料を依存する社会的構造に対する不安が高まっており農業の重要性が再認識されています。食料の安定供給を図るためには、基本となる米、麦、大豆を組み合わせた水田フル活用を進めていくことも、重要なことであると考えます。

県は、水田農業の振興に、どのように取組むのか、お伺いします。

農林水產部長

農林水產部長

県は製材事業の誘致にかけて、どのような考え方で検討を進めているのか、お伺いします。

林業 不林業の垣根

八

同量の
三重県

扱い手への農地集積を進めるとともに、作物ごとに生産振興を図つています。県民の皆さんに食料を安定供給できるよう、関係機関と連携しながら水田農業の振興に取り組んでまいります。

農林水產部長

県産材の新たな需要拡大を目的に、誘致に向けて検討を行っています。

自転車ヘルメットの着用は義務で

関係機関、団体、

必要な教員数が

改正で、自転車利用者全員に、ヘルメットの着用が努力義務となりました。警察庁の調査では、死傷者6万7801人のうち、着用率は9.9%となつています。中学生は、39.1%、65歳以上は3.6%です。調査結果等を踏まえて、着用率向上に向けての取組をお伺いします。

車事故の現 状

自転車事故の現状、交通安全教育等、各学校で推進を図っています。今後とも、生徒の貴い命や未来が奪われないようヘルメットの着用の必要性を訴えていくとともに、県内外の先進的な取組を紹介するなどして、ヘルメットの着用を促してまいります。

הנְּצָרָה

不足の背景として、量限鐵や、小学校

とした試験を行う事として
います。また、教員採用試験不合
格者にも講師登録を呼びか
けています。

雨水貯留施設等の設置に伴い宅地費用が高くなります。このことで、土地開発が困難になり、地価の下落や、域の人口減少にも、繫がりかねません。

特定都市河川に指定されると、個人の権利を制限したり、個人の土地などに、公益性を求める限りするものが含まれますが、どれだけの住民や、事業者に説明されたのかお伺いします。

長部蒲整土景

そういう声を真摯に受け止め、しっかりと住民に周知し、理解促進を図っていきます。他の河川においても都市河川の指定があれば、事前に今まで以上に住民の理解が得られるよう、周知徹底してまいります。

ない」とのこと

リーフレットを流域内の全戸に配布しました。また、三重県宅建協会や不動産協会を通じて全ての協会員に配布するとともに、ホームページや市広報で周知するとともに、流域全域で地元説明会を実施しました。

県土整備部長